

生命科学 (分子科学)

著書

学術論文

- 1) Iizuka M, Yoshida H: Cloning and Sequencing of a Gene Encoding Ribonuclease F1 of *Fusarium moniliforme*. Shimane Daigaku Igakubu Kiyo (Bulletin of Shimane University Faculty of Medicine) 30, 71-74, 2007.
- 2) Yoshida H, Iizuka M, Norioka N and Norioka S: Cloning and Sequencing of cDNA and Genomic DNA Encoding Serine Carboxypeptidase of *Fusarium moniliforme* That Was Copurified with Phosphatase. Journal of Bioscience and Bioengineering 103(6), 521-528, 2007.
- 3) Kato T, Kawabata Y, Fujii M, Kato T, Hato M, Minamikawa H: Micelle structures in aqueous solutions of glucose-based surfactants having an isoprenoid-type hydrophobic chain. Journal of Colloid and Interface Science 312(1), 122-129, 2007.
- 4) Iizuka M, Fukushima S and Yoshida M: Perfluoroalkylation of α -Methylstyrene Using Titanium Oxide as a Photocatalyst. Chemistry Letters 36, 1042-1043, 2007.
- 5) Yamakawa J, Ohkoshi M, Takahashi F, Nishiuchi T, Kuwatani Y, Nishinaga T, Yoshida M and Iyoda M: Synthesis and Properties of Cyclic [5]*meta*-Phenyleneacetylene and Its Corresponding Cyclophane Polyone, [2₅](1,3)Cyclophanedecaone. Chemistry Letters 37, 784-785, 2008.
- 6) Fujii M, Hamochi N, and Kato T: Surface Force of Polystyrene Latex Particles in Aqueous Anionic Amphipathic Solutions. Japanese Journal of Applied Physics 47(7), 6146-6148, 2008.
- 7) Konno O, Iizuka M and Yoshida H: Kinetic Studies on Ribonuclease F1 Using Diribonucleoside Phosphates as Substrates. Shimane Daigaku Igakubu Kiyo (Bulletin of Shimane University Faculty of Medicine) 31, 11-14, 2008.

学会発表

- 1) 藤井政俊, 羽持 渚, 最上理映, 加藤 直: ポリスチレンラテックス粒子の界面活性剤水溶液中における表面力挙動. 第 12 回高分子表面研究討論会. 東京, 2007 年 1 月.
- 2) 吉田正人: 光触媒上での一電子酸化還元を利用した新規炭素-炭素結合生成反応の開発. 特定領域研究「光機能界面の学理と技術」第五回研究成果公開シンポジウム. 福岡, 2007 年 1 月.
- 3) 吉田正人, 飯塚真理: 光触媒反応の有機フッ素化合物合成への展開. 特定領域研究「光機能界面の学理と技術」大学と科学公開シンポジウム. 東京, 2007 年 3 月.
- 4) 伊勢 恵, 藤井政俊, 加藤 直: ATRP 法による Si 基板上へのポリスチレンブラシの作成及び物性評価. 第 87 回日本化学会春季年会. 吹田, 2007 年 3 月.

- 5) 藤井政俊, 田中千香子, 甲 純人, 宮坂広夫, 加藤 直: ポリオキシエチレン変性シリコン/ジアルキルアンモニウム塩混合ベシクルの親水表面における吸着状態. 第 87 回日本化学会春季年会. 吹田, 2007 年 3 月.
- 6) 岩橋浩之, 藤井政俊, 加藤 直: アルデヒドの紫外線照射反応により水素終端 Si(111)表面上に固定化された直鎖アルキル単分子膜の表面力特性. 第 87 回日本化学会春季年会. 吹田, 2007 年 3 月.
- 7) 飯塚真理, 福島正充, 吉田正人: 光触媒酸化チタン表面上での酸化還元反応を利用した炭素-炭素結合生成反応 -ヨウ化フルオロアルキルとオレフィン類との反応-. 第 87 回日本化学会春季年会. 吹田, 2007 年 3 月.
- 8) Fujii M, Hamochi N, Kato T: Surface Force Properties of Polystyrene Latex Particle in Amphiphathic Aqueous Solutions. International Mini-Symposium on Surface Forces. Matsushima, March, 2007.
- 9) 羽持 渚, 藤井政俊, 加藤 直: ポリスチレンラテックス粒子の表面力挙動. 特定領域研究「ソフトマター物理」第一回公開シンポジウム. 東京, 2007 年 3 月.
- 10) 藤井政俊, 羽持 渚, 加藤 直: イオン性界面活性剤水溶液中におけるポリスチレンラテックス粒子表面層の状態変化. 特定領域研究「ソフトマター物理」第二回領域研究会. 米沢, 2007 年 6 月.
- 11) Fujii M, Hamochi N, Kato T: Surface Force of Properties of Polystyrene Latex Particles in Ionic Surfactant Solutions. New Frontiers in Colloidal Physics: A Bridge between Micro- and Macroscopic Concepts in Soft Matter. Kyoto, July, 2007.
- 12) Yoshida M, Iizuka M: TiO₂-catalyzed One-electron Reduction of Fluoroalkyl Iodide for the Synthetic Utility. 15th European Symposium on Fluorine Chemistry. Prague, July, 2007.
- 13) Yoshida M: Preparation of Fluoroalkyl Radicals and Their Synthetic Utility. Japanese-French Seminar on Fluorine Chemistry. Reims, July, 2007.
- 14) 谷内康行, 内海倫明, 押尾悠司, 川邊昌彦, 平 勝良, 野崎拓馬, 千葉雅美, 藤井政俊, 白川利昭: 小型中性子発生装置の製作と予備的考察 II. 第 44 回アイソトープ・放射線 研究発表会. 東京, 2007 年 7 月.
- 15) 岩橋浩之, 藤井政俊, 加藤 直: Si(111)表面上の直鎖アルキル基単分子膜とシリル化したシリカ粒子の間の表面力. 第 60 回コロイドおよび界面化学討論会. 松本, 2007 年 9 月.
- 16) 飯塚真理, 大崎 瞳, 吉田正人, 園田高明: メチル炭素上に種々のフルオロアルキル基を有する α -メチルスチレン類の合成と反応. 第 57 回有機反応化学討論会. 東広島, 2007 年 9 月.
- 17) 中村俊介, 荒川葉子, 上條敏生, 千葉雅美, 安田 修, 矢吹文昭, 伊部圭介, 近 匡, 清水 裕, 近重悠一, 二宮壮介, 内海倫明, 谷内康行, 藤井政俊: 超高エネルギーニュートリノ検出のための岩塩中電磁シャワーからのダイポールアンテナによる電波検出シミュレーション. 日本物理学会第 62 回年次大会. 札幌, 2007 年 9 月.

- 18) 荒川葉子, 上條敏生, 千葉雅美, 中村俊介, 安田 修, 矢吹文昭, 伊部圭介, 近 匡, 清水 裕, 近重悠一, 二宮壯介, 内海倫明, 谷内康行, 藤井政俊: 超高エネルギーニュートリノ検出のための岩塩電離状態からの反射電波の精密測定. 日本物理学会第 62 回年次大会. 札幌, 2007 年 9 月.
- 19) 岩橋浩之, 藤井政俊, 加藤 直: Si(111)表面上のアルキル鎖を有する単分子膜とシラン化したシリカ粒子の間の表面力. 第 27 回表面科学講演大会. 東京, 2007 年 11 月.
- 20) 岩橋浩之, 藤井政俊, 加藤 直: Si(111)表面上のアルキル鎖を有する単分子膜とシラン化したシリカ粒子の間の表面力. 第 27 回表面科学講演大会. 東京, 2007 年 11 月.
- 21) Fujii M, Hamochi N, Kato T: Surface Force of Polystyrene Latex Particle in Aqueous Amphipathic Ion Solution. The 15th International Colloquium on Scanning Probe Microscopy. Higashi-izu, December, 2007.
- 22) 伊勢 恵, 藤井政俊, 加藤 直: Si 基板上へのポリスチレンブラシの作成及び物性評価. 第 88 回日本化学会春季年会. 東京, 2008 年 3 月.
- 23) 岩橋浩之, 藤井政俊, 加藤 直: 原子レベルで平坦化した疎水性表面間の表面力. 第 88 回日本化学会春季年会. 東京, 2008 年 3 月.
- 24) 飯塚真理, 大崎 瞳, 福島正充, 藤井政俊, 吉田正人: メチル炭素上にフルオロアルキル基を有する α -メチルスチレン類の合成、反応、性質. 第 88 回日本化学会春季年会. 東京, 2008 年 3 月.
- 25) 大崎 瞳, 飯塚真理, 藤井政俊, 吉田正人: ヨウ化フルオロアルキルを用いた光触媒的フルオロアルキル化 -電気化学的考察- 第 88 回日本化学会春季年会. 東京, 2008 年 3 月.
- 26) 谷内康行, 内海倫明, 松村義人, 押尾悠司, 川辺昌彦, 平 勝良, 野崎拓馬, 千葉雅美, 藤井政俊: 小型中性子発生装置の開発. 第 55 回応用物理学関係連合講演会. 船橋, 2008 年 3 月.
- 27) 二宮壯介, 近 匡, 清水 裕, 近重悠一, 伊部圭介, 荒川葉子, 上條敏生, 千葉雅美, 中村俊介, 安田 修, 矢吹文昭, 内海倫明, 谷内康行, 藤井政俊: 岩塩ニュートリノ検出器の為に 300MHz 共振器の改良と UHF 帯における岩塩減衰長の測定. 日本物理学会第 63 回年次大会. 東大阪, 2008 年 3 月.
- 28) 荒川葉子, 上條敏生, 千葉雅美, 中村俊介, 安田 修, 矢吹文昭, 伊部圭介, 近 匡, 清水 裕, 近重悠一, 二宮壯介, 内海倫明, 谷内康行, 藤井政俊: 岩塩ニュートリノ検出器の為に γ 線照射による岩塩からの電波反射実験. 日本物理学会第 63 回年次大会. 東大阪, 2008 年 3 月.
- 29) 伊部圭介, 近 匡, 清水 裕, 近重悠一, 二宮壯介, 荒川葉子, 上條敏生, 千葉雅美, 中村俊介, 安田 修, 矢吹文昭, 内海倫明, 谷内康行, 藤井政俊: 岩塩ニュートリノ検出器のための UHE ニュートリノ核子散乱計算. 日本物理学会第 63 回年次大会. 東大阪, 2008 年 3 月.
- 30) 中村俊介, 上條敏生, 千葉雅美, 荒川葉子, 安田 修, 矢吹文昭, 伊部圭介, 近 匡, 清水 裕, 近重悠一, 二宮壯介, 内海倫明, 谷内康行, 藤井政俊: 平

- 面アンテナの特性と岩塩鉱での応用．日本物理学会第 63 回年次大会．東大阪，2008 年 3 月．
- 31) Taniuchi Y, Taira K, Utsumi M, Matsumura Y, Chiba M, Fujii M: Development of Compact Neutron Generator. 35th IEEE International Conference on Plasma Science. Karlsruhe, Germany, June, 2008.
 - 32) Fujii M, Ise M, Kato T: Surface Morphology and Optical Properties of Graft Polystyrene Layers. International Symposium on Non-Equilibrium Soft Matter. Kyoto, June, 2008.
 - 33) 千葉雅美，荒川葉子，上條敏生，安田 修，矢吹文昭，伊部圭介，近 匡，清水 裕，近重悠一，内海倫明，谷内康行，藤井政俊：岩塩ニュートリノ検出器の為の電子線照射による電波反射実験．日本物理学会 2008 年秋季大会．山形，2008 年 9 月．
 - 34) 荒川葉子，千葉雅美，上條敏生，安田 修，矢吹文昭，伊部圭介，近 匡，清水 裕，近重悠一，内海倫明，谷内康行，藤井政俊：岩塩ニュートリノ検出器の為の V・UHF 帯における岩塩減衰長の測定．日本物理学会 2008 年秋季大会．山形，2008 年 9 月．
 - 35) 伊部圭介，近 匡，清水 裕，近重悠一，千葉雅美，荒川葉子，上條敏生，安田 修，矢吹文昭，内海倫明，谷内康行，藤井政俊：岩塩ニュートリノ検出器の為の超高エネルギーニュートリノと核子の反応断面積．日本物理学会 2008 年秋季大会．山形，2008 年 9 月．
 - 36) 谷内康行，平 勝良，内海倫明，松村義人，千葉雅美，白川利昭，藤井政俊：小型中性子発生装置の開発．第 69 回応用物理学学術講演会．春日井，2008 年 9 月．
 - 37) 藤井政俊，伊勢 恵，加藤 直：ポリスチレングラフト膜の表面モルフォロジー．第 61 回コロイドおよび界面化学討論会．福岡，2008 年 9 月．
 - 38) 藤井政俊，伊勢 恵，加藤 直：グラフト高分子のキャラクタリゼーション．応用物理学会 有機・バイオ SPM 研究会．広島，2008 年 9 月．
 - 39) Fujii M, Ise M, Kato T: Surface Morphology and Optical Properties of Graft Polystyrene Layers. 4th Vacuum and Surface Sciences Conference of Asia and Australia. Matsue, October, 2008.
 - 40) Taniuchi Y, Taira K, Utsumi M, Matsumura Y, Chiba M, Shirakawa T and Fujii M: Development of Compact Neutron Generator. 4th Vacuum and Surface Sciences Conference of Asia and Australia. Matsue, October, 2008.
 - 41) Taira K, Taniuchi Y, Utsumi M, Matsumura Y, Chiba M, Fujii M, Shirakawa T: Development of Compact Neutron Generator with Metal Deuteride Cathode. 4th Vacuum and Surface Sciences Conference of Asia and Australia. Matsue, October, 2008.
 - 42) Fujii M, Iwahashi H, Kato T: Surface Forces of Atomically Flattened Hydrophobic Si(111) Surface. The 5th International Symposium on Surface Sciences and Nanotechnology. Tokyo, November, 2008.

- 43) 飯塚真理, 大崎 瞳, 藤井政俊, 吉田正人: 酸化チタンによる光触媒的酸化-還元反応に基づく有機フッ素化合物合成 - フルオロアルキル化オレフィン、ケトン、アレーン類の合成 - . 第 32 回フッ素化学討論会 . 名古屋, 2008 年 11 月 .